

平成 28 年 3 月 8 日

鹿児島大学病院に入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院医療情報部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

急性期医療機関における在宅復帰率向上を阻害する要因分析と効果的介入

【研究機関】

鹿児島大学病院 医療情報部

【研究責任者】

宇都 由美子（医療情報部 准教授）

【研究の目的】

平成 26 年度診療報酬改定により、団塊世代が 75 歳を超える 2025 年に向けた医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築を図ることが示されました。その一翼を担う急性期医療機関では、高度な医療の提供とともに退院支援等の役割を十分に発揮することが求められるようになりました。

今回、病院情報システムに蓄積された診療情報データから在宅復

帰を阻害する要因を明らかにした上で、それらの解決に向けた効果的な介入方法を見出すことにより、適切な退院支援を確立することを目的として研究を行います。

【研究の方法】

鹿児島大学病院に入院された患者さんの診療情報データ、DPC等を用いて、疾患や病態、家族背景（独居など）、居住地に関することを調査します。自宅退院された患者さんと、自宅以外に転院した患者さんとの違いを明らかにします。それらの分析を通じて、在宅への復帰を阻害する要因を検討し、入院早期からの患者さんの状況に応じた適切な退院支援を明らかにします。

●対象となる患者さん

平成26年4月1日から平成27年3月31日までに鹿児島大学病院に入院され、同期間内に退院された患者さん

●電子カルテシステムから利用する情報

患者さんの性別、年齢、疾患及び病態（認知症）、家族背景（独居等）、居住地、退院先（自宅等か自宅以外への転院）、DPC情報。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医療システム情報学の研究費で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 医療情報部

准教授 宇都 由美子

電話 099-275-5171 FAX 099-275-5177